

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

お願い

- 商品を正しく施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
- 商品の施工については必ず本説明書に従ってください。
- 商品周辺の防水処理と商品本体のシーリングは説明書に従って必ず行ってください。漏水は家屋や家財を傷める原因になります。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれの無いことを確認してください。取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮出来ず、家屋の損害の原因になります。
- 施工完了後、説明書の調整方法通り調整が行われていることを確認してください。調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- 商品をシンナーやベンジン等の有機溶剤でふかないでください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

チェックシート

取付時、本文中に表示している「チェックマーク」の確認をしてください。

項目	チェック欄
① 枠のハラミ・つづみ・対角ずれ・ねじれの無いことを確認しましたか?	

同梱一覧

部品名	上枠	下枠	下レール	左たて枠	右たて枠	戸先枠		上框	中框	ガラリ	下框	召合せ框	召合せ框
品番	2K-91503-1	2K-91504-1	2K-93411-1	2K-91505-1	2K-91506-1	K-51861-1	K-51845-1	K-51842-0	K-51864-0	K-51865-0	2K-81602-0	K-51847-1	K-51847-1
個数	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	2	2

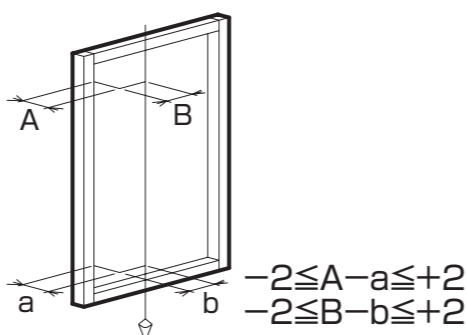
部品袋No.	同梱			部品袋1				部品袋2			部品袋3			
番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
品名	引手	ガスケット	サムターン	コインロック	小トラスタッピンねじ1種 (φ5×30)	小トラスタッピンねじ2種 (φ4×55)	戸車調整ガイド	ガラリ連結部品	ガラリ連結部品	小トラスタッピンねじ2種 (φ4×35)	皿木ねじ (φ3.8×50)	ねじり釘	たて枠キャップ	丸皿木ねじ (φ3.5×20)
品番	◆2K-30656	◆K-29108	◆K-39731	◆K-37915	AM-5030-SC	BM-4055W	◆K-39722	◆K-38008	◆K-38009	BM-4035G	◆WF-3850	K-6606A	◆2K-30251	◆WO-3520D6
個数	1組	1本	1	1	2	12	6	3	3	10	8	22	2	22
備考		15m	障子の開き勝手が決まった後取付	引手取付用	障子組立用			可動ガラリの場合のみ取付	障子組立用	枠取付用	枠取付用	枠取付用	枠取付用	枠取付用

- 〇の部品は、枠・障子を組立てる際に使用する部品です。
- 枠取付ねじは最大サイズのとき必要な本数となっています。サイズによっては異なりますのでご注意ください。

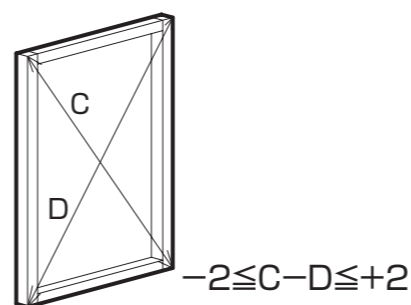
開口部について

取付時には、以下の寸法をお守りください。垂直度(前後・左右)・対角寸法は、±2mm以内としてください。枠のねじれ・ハラミ・つづみの無いように注意してください。

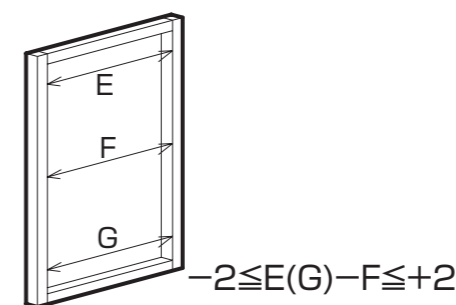
垂直度の確認



対角寸法の確認



ハラミ・つづみの確認

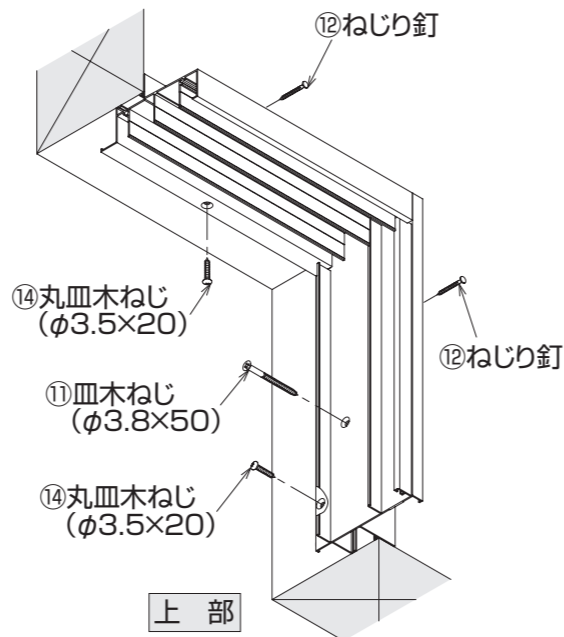
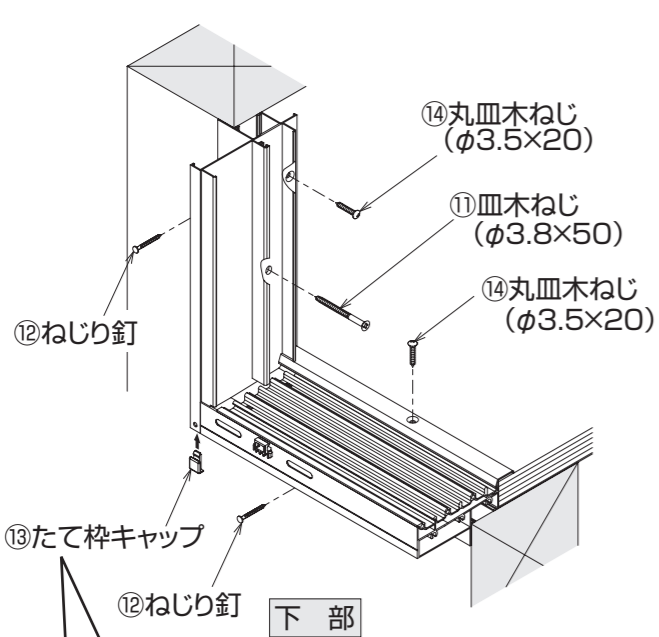


1. 枠の取付

- ①開口部の水平・垂直・面違いを確かめてください。
- ②サッシ枠を開口部へはめ込み、仮止めし、下げ振り・水準器・巻尺などを使用し、水平・垂直・対角寸法を確認してください。(垂直度(前後左右)・対角寸法は±2mm以内としてください。)
- ③枠の左右出入を調整してください。(出入を修正しすぎ間があれば詰木を入れてください。)
- ④枠外部をねじり釘で本付けし、枠内部を皿木ねじでしっかりと固定してください。上下枠に対し、たて枠は十分、直角に注意して取付けてください。

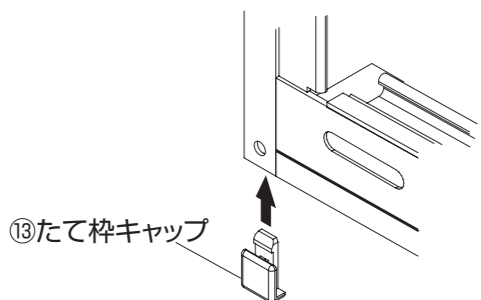
注意

躯体側の防水処理は必ず行ってください。



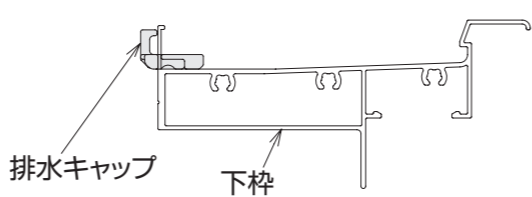
ポイント

オプションのグレーチングユニットを併用する場合 → キャップをつけない
併用しない場合 → 左右にキャップをつける



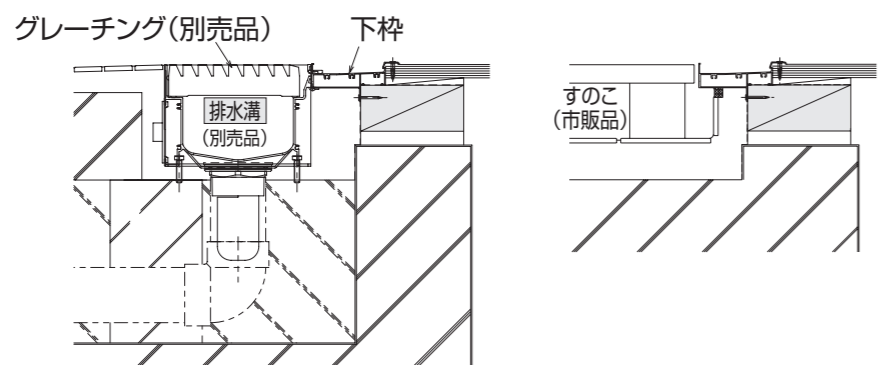
注意

下枠には排水キャップが3個付いています。排水補助のための部品なので必ずささないでください。



お願い

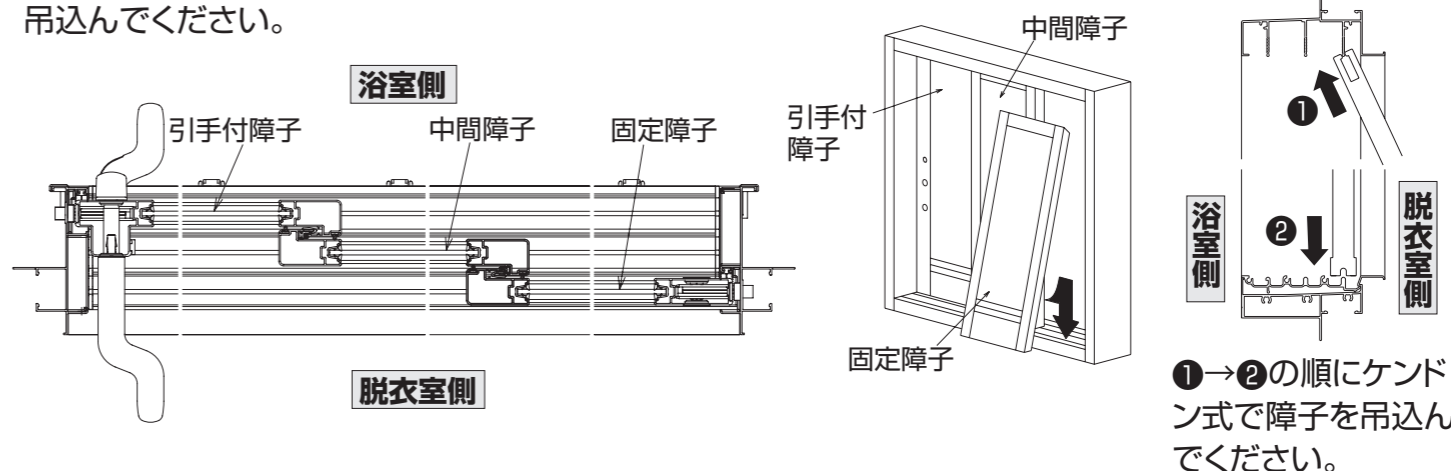
- たて枠・下枠のたわみが大きいと、施解錠・障子の開閉に支障をきたしますのでご注意ください。
- オプションのグレーチングを併用する場合は、たて枠キャップを付けないでください。
- 浴室の床面と下枠を同一面に仕上げる場合、必ず下枠前面排水溝(グレーチング、すのこなど)を設置してください。排水溝を設けないと、水が脱衣室に漏れる原因となります。



下枠の排水溝とは別に、洗い場の主たる排水口を別途施工してください。

2. 障子の吊込み

障子を引手付障子→中間障子→固定障子の順に吊込んでください。

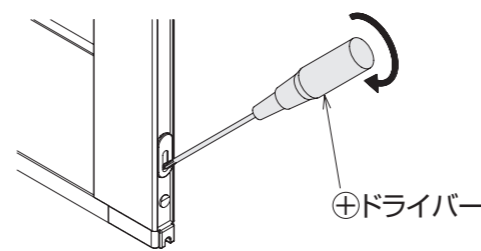


①→②の順にケドン式で障子を吊込んでください。

3. 建付調整

戸車調整

取付け後、建付が悪い場合、戸車を上下することで調整してください。
⊕ドライバーで戸車調整ねじを時計回りに回すと障子が上がります。(3.5mmまで調整可能)



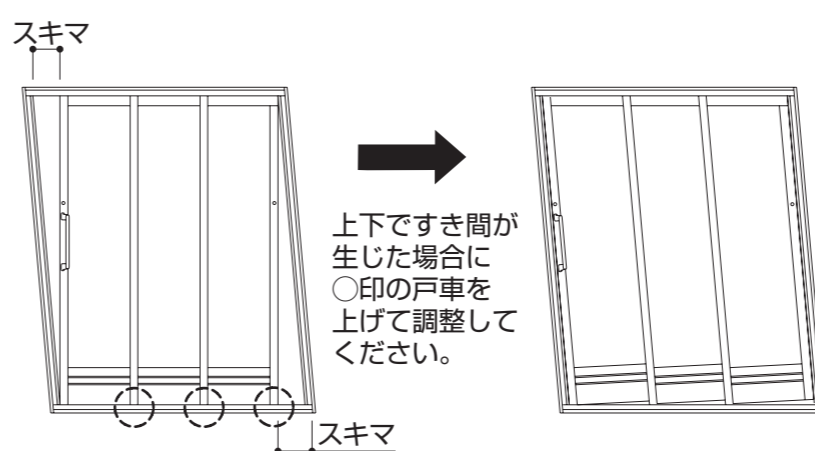
引戸の戸車調整は、枠の対角差がずれ、たて枠と障子の間にすき間が生じたり、三枚片引き戸で障子どうしの戸当りが片当たりする際に行います。

お願い

調整ねじの初期設定は障子が一番下がった状態です。初期の設定から反時計回りに回しても障子は動きませんのでご注意ください。

注意

電動ドライバーを使用するとねじの頭がつぶれ、戸車調整が出来なくなりますので使用しないでください。



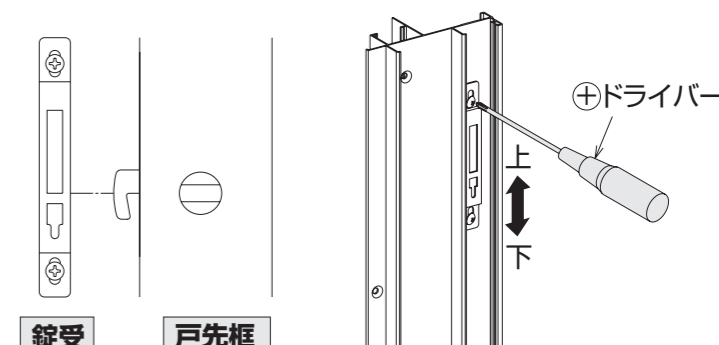
戸車の初期状態が一番下がった状態に設定されています。右回りで最大3.5mmまで上げることが可能です。1回転で約0.6mm上がります。障子の長短比の関係から調整量のA:Bは1220サイズ……A:B=1:5が目安です。

錠受調整

錠のかかりが悪い場合、錠受け取付ねじを⊕ドライバーでゆるめて上下方向に調整し、再度ねじを締め直してください。

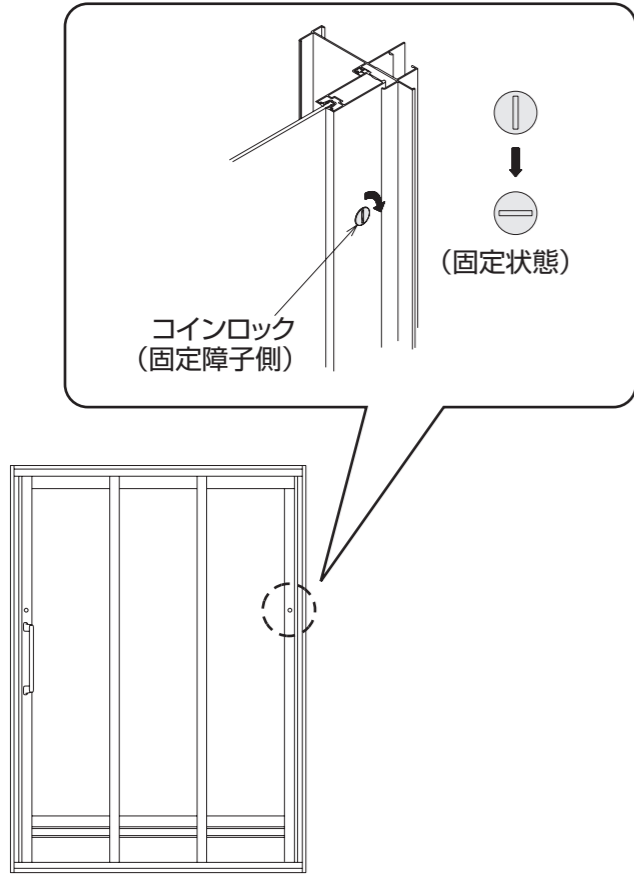
ポイント

錠の首部下面が、錠受け側のリップ上面と同じ高さになるよう調整してください。



4. 固定障子の固定

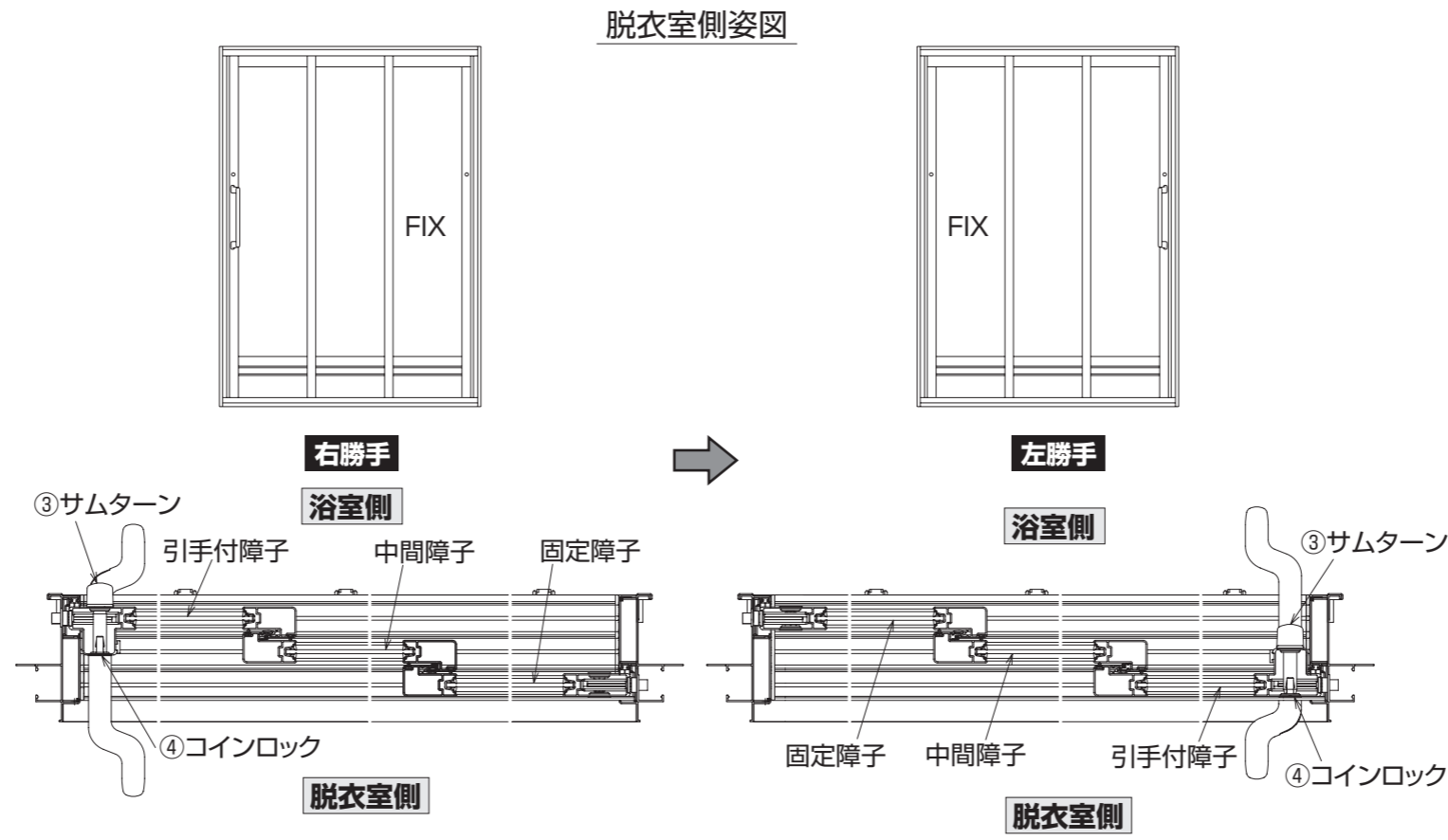
固定障子側のコインロックをコイン等で回し、固定障子を固定してください。



逆勝手にする場合

この商品は、勝手変更が自由にできます。工事途中で変更になった場合、下記要領で勝手変更の作業を行ってください。

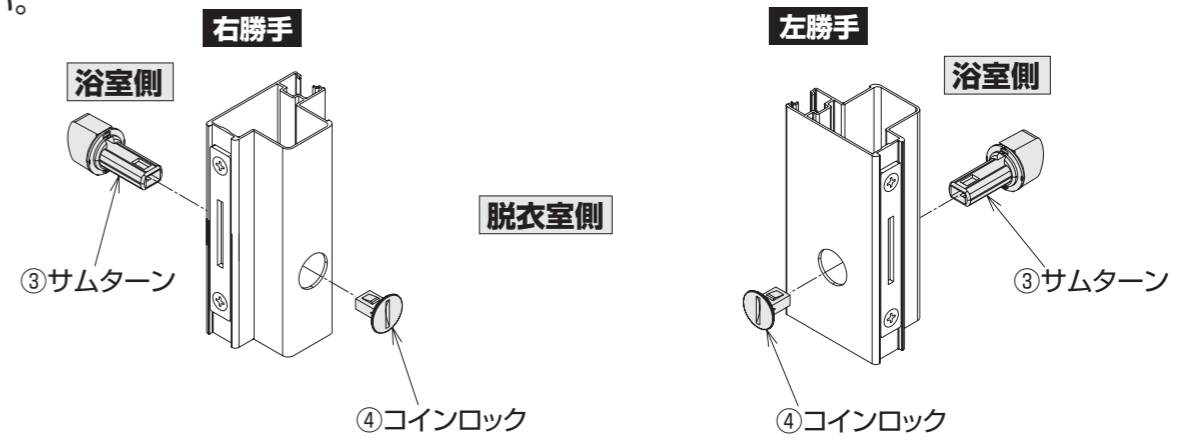
①3枚の障子をはずし、下図のように180°反転させて吊込んでください。



②引手付障子のサムターンとコインロックを取付け直してください。

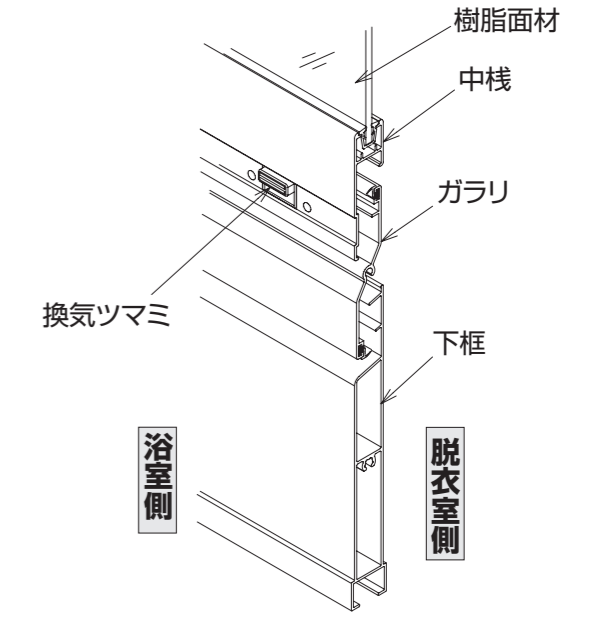
ポイント

サムターンのツマミ部をウエスなどで覆ってからペンチで引抜き、向きを変えて、取付け直してください。



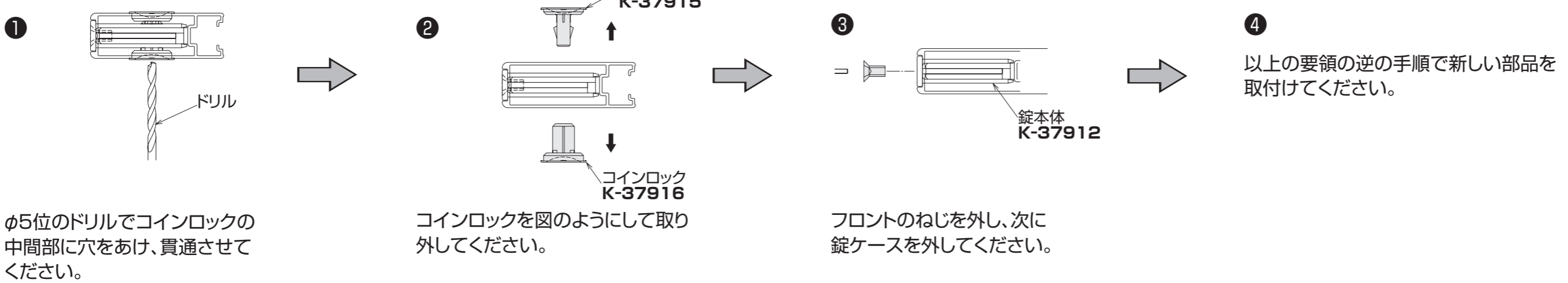
可動ガラリ仕様の場合

可動ガラリ仕様の場合は、ガラリ部の組替えが必要となります。逆向きに設置すると漏水の原因となりますので必ず、換気ツマミが浴室側にくるように中棧・ガラリ・下框の組立を行ってください。



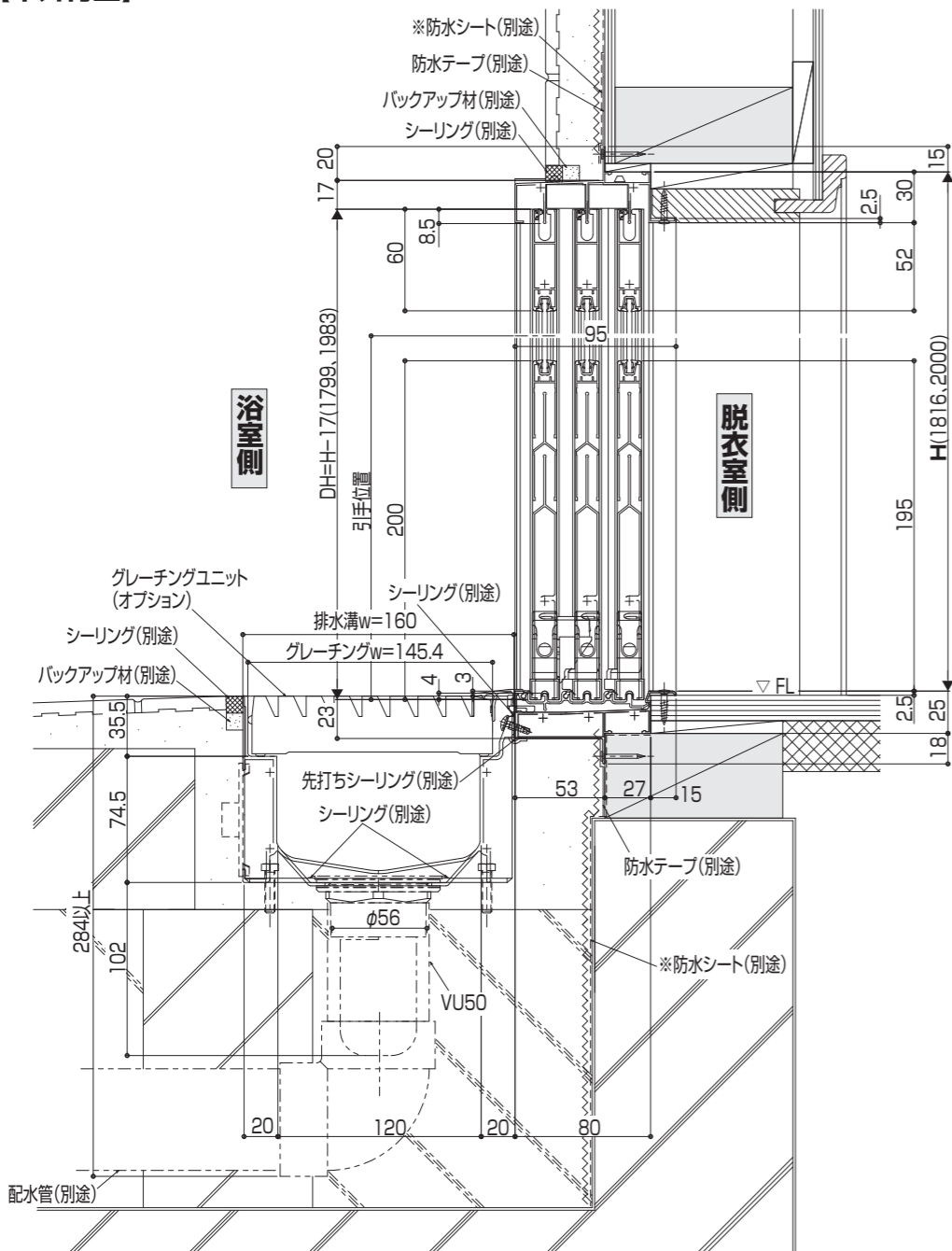
錠の交換方法(固定障子)

錠が万一、壊れるなどして交換が必要な際は、下記の要領で取替えてください。



納まり参考図 (単位: mm)

【半外付型】



※防水シートはアスファルトフェルト等を使用のこと。

浴槽のお取替えが生じた時のために、浴槽の出し入れ開口はあらかじめご配慮ください。

